

(様式第2号)

事業所名 グループホーム太良の里

目標達成計画票(事業所記入)

作成日: 令和 6年 5月 13日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	入居者の思いに耳を傾け、入居者の側に立った対応をするよう心掛けてきたつもりではいるが、施設運営、団体生活の規範の中という縛りがあり、個々にとって十分な対応ができていなかったのではないだろうか。	入居者の要望をしっかりと受け止めて、可能な限り実現するよう努め、入居者お一人お一人の満足感を高める。	・入居者とよくコミュニケーションを図り要望、意見をしっかりと拾い上げて、職員間で共有する。(朝のミーティング) ・要望は実現するというスタンスでどうすれば実現できるか検討する。 ・完全には実現できない場合も、譲歩案を入居者に提案し、不満が残らないよう配慮する。 ・小さな要望に一つ一つ丁寧に対応することにより、安心した生活を送っていただけるよう努める。	3ヶ月
2	49	コロナ禍以降、近隣の散歩やドライブ等は極力行っているものの、地域や街に出て外部の人と触れ合うような外出の機会が減っている。単調な生活になりがちで、楽しみや期待感をもって生活することが少なくなっている一面もある。	感染情報を確認した上で、感染対策を十分行い、外出の機会を増やし、入居者お一人お一人が生き生きと生活できるよう支援する。	・小グループに分かれ、気軽にドライブに出かける機会を増やし、気分転換を図れるようにする。 ・レストランでの会食、スーパーマーケットでの買い物等の機会をつくり、生活のメリハリやお楽しみ感をもてるよう支援する。	6ヶ月
3	36	お一人お一人の人格を尊重し、プライバシーを侵害しない声掛けや対応ができていないこととときどき見受けられる。	全職員が、パーソンセンタードケアの精神をもって、入居者ファーストの温かく丁寧な声掛け、対応を行えるよう徹底する。	・朝のミーティング終了時に日勤職員で文献のコピーを読み合わせを行い(5分程度)、場面に応じた入居者への声掛けの良い例と悪い例について確認する。 ・パーソンセンタードケアや虐待防止研修(特に精神的虐待)等、職員全体で学ぶ場や意見交換する場を設け、人格を尊重し、人権を守る関わりに対する意識を高めていく。	12ヶ月
4					
5					ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加してください。